

※事業名・体験活動名

子供たちの創造性やコミュニケーション能力を育むためのダンス体験ワークショップ

1. 事業・活動の概要・成果等

からだを使ったコミュニケーションや創作方法である“ダンス”を通じて、一人一人の個性を引き出し、生きる力を養い、多様な価値観や他者との協同などについて学ぶダンス体験ワークショップを、全国各地でコーディネートしています。学校教育における活動の予算は、主に文化庁の「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（NPO 法人提案型）」を活用し、滋賀県内では、H28-R6 年度まで、大津市、甲賀市、近江八幡市、長浜市などで小学校 17 校、中学校 5 校、特別支援学校 2 校にて実施しています。

●これまでのアンケート集計・新聞記事等 <https://jcdn-web.org/project/project-256/>



2. 団体の紹介

・団体の紹介メッセージ

NPO 法人 JCDN（ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク）は、京都市内に事務局を置き、アーティストとともに全国各地へダンスを届ける活動を行っています。教育に関わる活動では、これまでアーティストが小・中学校へ出向いて行うワークショップのコーディネート、学校の先生のための実技講習会等を行っています。

ダンスは言葉や道具を使わずに、自分自身の身体を使って表現しコミュニケーションするという他の芸術にはない特徴を持っています。“自分を見つめる力” “自己表現力” “他者との関係性を創る力”、これらがダンスを形創るための大きな力です。これらの力は同時に、人間が生きていく上で不可欠な“生命力”である、とも言えるのではないのでしょうか。これからの日本の社会を考える上で、新たな“生命力”を育てていくこと、それが現代社会において求められていることであり、“ダンスの持っている力”なのです。ダンスの持っている力を社会の中で活かしていくこと、子供から老人まで日常生活の中でダンスに触れる機会を創ること、その為の環境を創ること、それが JCDN の活動のミッションです。

3. 人材（スタッフ・次世代を担う若者）を育成するときに大切にしたいこと・気を付けていること

・自分のものさしを持つこと…自分の感覚を開いて、いろんな情報をキャッチし、その中から自分なりの大事なものの、価値を見つける。

・創造力が未来を創る…創造力はゼロを 1 にし、想像力は 1 を 100 にする。創造力が発明を生み、発明が人々の営みを豊かにしてきた。それを上手に使うか悪用するかも、使う人の想像力に左右される。子供にも大人にも創造力は備わっている。引き出して磨いて活用する術を知れば、未来が開かれ社会も変化していく。